

5 - 1 1 東海地方における地殻変動連続観測 (1992 年 1 月 ~ 1995 年 10 月)
Continuous Observation of Crustal strains in the Tokai District.
(The period from January, 1992 to October, 1995)

名古屋大学理学部
School of Science, Nagoya University

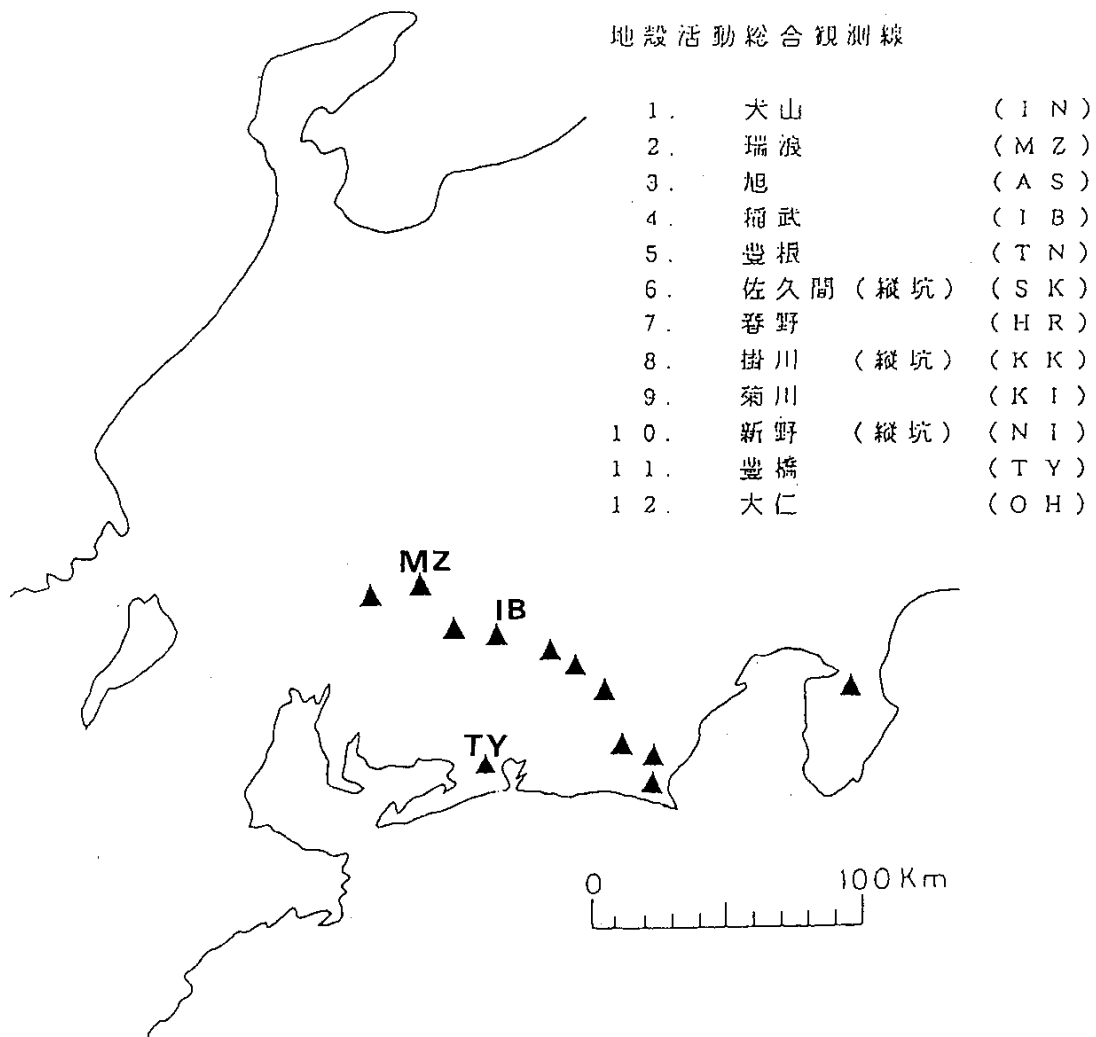
東海地殻変動総合観測線において観測された伸縮変化について報告する。

第 1 図に観測地点の配置を示す。降雨の影響が比較的少ない瑞浪 (MZ), 稲武 (IB), 豊橋 (TY) における伸縮変化を第 2 図に示した。最上部に豊橋で観測した 1 日毎の降雨量を示す。この期間中に発生した, 1994 年 12 月の三陸はるか沖地震, 1995 年 1 月の兵庫県南部地震についての詳細は既に報告した¹⁾。

豊橋では降雨の影響が見られるが, 稲武, 瑞浪ではほとんど見られない。稲武では E W 成分が伸張していることと, N E 成分に大きな年周変化が見られることが特徴である。豊橋においてもわずかながら E W 成分が伸張する傾向が 10 年以上も継続している。第 2 図から分かるように, 瑞浪では短周期の変動をしつつ N E 成分が収縮している。また, 95 年の 7 月頃から N E 成分の収縮が大きくなり, E W 成分も収縮を始めたことが分かる。現時点では, 経年変化の傾向が変わった原因は不明である。今後, どのように推移するのか注目してゆきたい。

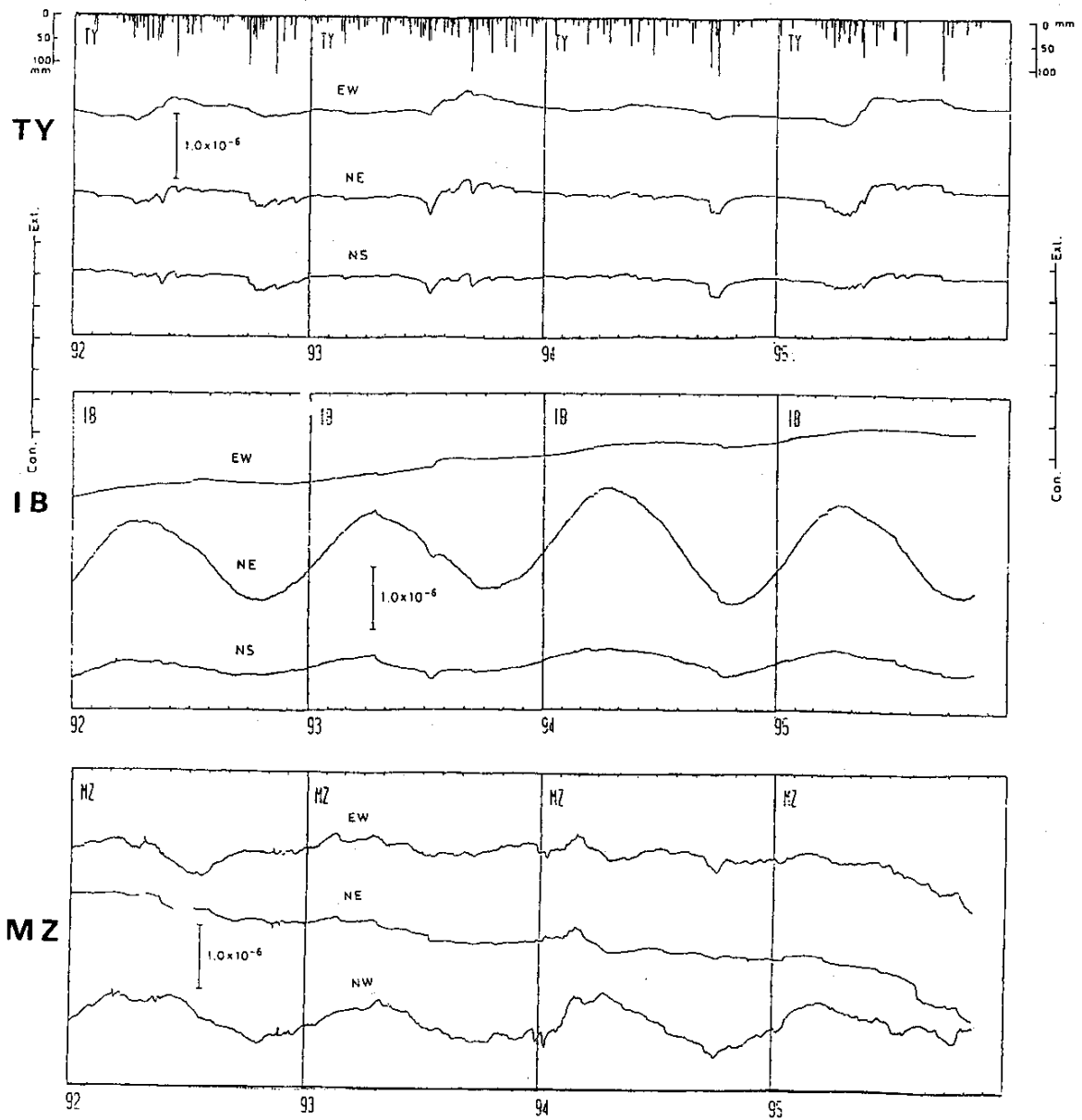
参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部: 東海地方における地殻変動連続観測 (1994 年 1 月から 1995 年 5 月), 連絡会報, 54 (1995), 393-397.



第1図 観測値点の配置

Fig. 1 Location of observation stations.



第2図 瑞浪 (MZ), 稻武 (IB), 豊橋 (TY) における伸縮変化。

Fig. 2 Strain changes observed by extensometers at MZ, IB and TY for the period from January, 1992 to October, 1995.